

## 会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成25年度第9回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成25年12月19日(木) 18時30分から19時30分まで			
開催場所	墨田区役所2階 21会議室			
出席者数	<p>【委員16人】</p> <p>阿久沢委員 池田委員 伊藤委員 宇田川委員 笠貫委員  久保田委員 小木曾会長 佐野委員 島崎委員 清水副会長  永岡副会長 野島委員 本間委員 松本委員 森下委員  柳委員</p> <p>【事務局3人】 環境保全課長、環境管理担当主査及び職員</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議題	<p>1 すみだ環境共創プラン&lt;改定版&gt;基本目標2・4について</p> <p>2 その他</p>			
会議概要	<p>1 すみだ環境共創プラン&lt;改定版&gt;基本目標2・4について</p> <p>すみだ環境共創プラン&lt;改定版&gt;基本目標2・4について、A副会長より提案説明があった。その後、意見交換を行った。</p> <p>(提案の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの議論を踏まえ議論を広げる。</li> <li>・「ごみの分別」「生ごみの処理」に絞って議論する。</li> </ul> <p>【主な意見等】</p> <p>一般家庭から出されるごみは、墨田区一般廃棄物処理基本計画等により処理されている。その改定が近く予定されているが、今までそのルールの見直しがこの区民会議で議論されてこなかった。区で決められた分別等のルールどおりにやるのが適正な分別なのか、議論に至っていない。</p> <p>墨田区では使用済小型家電製品のリサイクル回収を環境省のモデル事業として試行した。26年度も継続されると思うが、評価する。</p> <p>また、容器包装リサイクル法が来年度に見直しされる。自治体の負担が多いため、取組む自治体数が少ない。墨田区は、先進的な自治体に比べ、資源化率が低い。ペットボトルと食品トレーのみ回収している。墨田区でも取組みが進むよう期待する。</p> <p>家庭で取組める生ごみのリサイクルを進めてほしい。近隣自治体の事例を参考に、生ごみの堆肥化を進めてほしい。</p> <p>エネルギー事業者としてこの区民会議に参加している。区民の方は、環境に貢献していることが効果として見えてこない、節電や分別等は長続きしないと感じる。インターネ</p>			

ットで利用できるサービスとして「でんき家計簿」を紹介する。登録すれば、過去2年間の電気使用量が見られ、モデル家庭との比較もできる。

消費を控えれば、節電に繋がる。

生ごみの減量は水切りが一番効果的である。手間を掛けずにでき、長続きする。広く普及していかなければいけない。

分別とは資源としてリサイクルすることだが、必ずしも省エネとは限らない。経費も掛かるしエネルギーも使う。それを考慮して、リサイクルを提案していかなければいけない。

容器包装については、無駄な包装は断る等、身近な問題であり、取組む気持ちの問題だと思う。

古いクーラー等は電気を多く使うので、買換えやすい制度を区で整備してほしい。

マンションではディスポージャーを使用しているため、生ごみはあまり出ない。

マンションでは分別を効率的に行って、現金に還元している。

今後、マンションに雨水タンクの設置を義務づけた方が良い。

生ごみは水切りの徹底をすることが一番だと思う。過剰包装が多い。エコバックの利用は良いことだが、どこでも配っていて、各家庭に多数の在庫を抱えている。断ることも必要と思う。新聞紙と広告を別けることを知らない人もいる。新聞紙だけだと高値で引き取ってくれる。区でも広くPRした方が良い。

エコバックを使う人は、年配者が多い。若い女性や男性は、有料でもレジ袋を買っている。最近プリンターを買換えたが、インクがすぐなくなってカートリッジが溜まってしまう。廃棄物の減量という観点から、企業努力に期待したい。

新築マンションには、雨水タンクの設置や屋上緑化を義務づけた方が良い。

集団回収から行政回収に変わってリサイクルの意識が下がった。

建築関係では、省エネの観点から家の創りが変わっていく。建物の解体では、分別の徹底のため経費が上がっている。安全なまちづくり、都市づくりはすべて建築から始まる。もっと関心を持ってもらいたい。マンションより一戸建て、低炭素住宅、木造住宅を推進している。廃油のリサイクルを墨田区の業者が行っている。

新築マンションに緑化を義務づけているため、見た目の緑を感じる。雨水利用を推進するならば、マンションに雨水タンクの設置を義務づけた方が良い。不法投棄やポイ捨てが多い。

過去、ディスポージャーを使用していた。今、使って良いのか、良くないのか。新聞紙と広告を別けた方が良いのか。情報が錯綜しているので、正しい情報を知りたい。

東日本大震災以後、節電等の意識が広まった。今後、家庭でできるクールビズやウォームビズ等、企業を取り込んで広めていくことも必要だと思う。

基本目標2と4はターゲットが違う。2は地球的環境問題で、自然の保護。4は地域的環境問題で、身近な地域が対象となる。今後、区民会議として、どの部分をターゲットとして提案していくのか、目標を決めていきたい。

所 管 課

区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463